

京浜地方	一、八三一	二、五五七	八八
阪神地方	二、〇〇八	三、〇五〇	一五四
名古屋地方	一、七二二	二、四七八	二五
北九州地方	一、六四〇	二、二九七	二〇
其他地方	一、五六五	一、九七五	五〇
以上平均	一、八五三	二、六二九	三三七
前記全工業平均	一、五三七	二、一三一	一五二七
因島工場	一、九八〇	三、〇三〇	

以上の統計中には余々女工を含みず、高宮工場平均定額日給及平均日収は爭議前自三月十日翌四月二十日の最近のものに例をとり取りもとのなり。

右の表に就て見ると当工場の平均日給は唯阪神地方より一割、日収は於て僅かに一割、高額であるが、他より比する時は非常の高額であり、機械器具工業の平均に比するより平均日給に於て十三割七厘、日収に於て四十割七厘の高給なる事を示し、織造及染色工業

機械器具工業、化学工業、飲食工業、雑工業等、平均日給

老丹五拾貳錢七厘、日収貳円拾貳錢七厘に比較すれば日給に於て四拾五錢五厘、日収に於て九拾錢の高額を示す。収入の莫く於て既述の如し。

更に天をり莫く吾工場より定額日給に於て貳割八厘、日収に於て三錢高給なる唯一の阪神地方との生活状態を窺ふるべからず。

支出の最も大なるは衣食住の三なり。

試み住宅に就て之を見よう。

阪神地方住民の約八割は借家住り、概ね一月収入の三割乃至四割を家賃に費すといふのである。

因島の家賃を見るに当工場社宅百七十六戸此家賃費内より最高四圓、最少数平均十七錢、家賃平均貳円五十錢、一層十五錢とあり。

土佐野の家賃を見るに一層約三十錢、十七層より約五十円に相當す。之を前表より阪神地方と比較し共一月二十八日同勤務率ものとすれば